



学園だより

心の飾りを

姫路市香寺町香呂890

TEL 079-232-5578

URL
https://www.
hinomoto.ac.jp/

2023年度

入学宣誓式

4月8日(土)午後、入学の喜びを待ちきれずに一足先に満開になった桜が、263名の新入生を迎え第131回入学宣誓式が厳かに挙行されました。ようやくコロナ自粛が緩和され、チャペルの席が生徒と保護者で埋めつくされました。そんな中、新入生を代表して、押田萌心さん(佐用中学校出身)が、「憧れだった高校生活に早く慣れ、勉強に部活動に頑張ります」と決意を述べてくれました。また、生徒会長の三浦夕葵さん(2年広嶺中学校出身)が「共に充実した生活を送り、魅力ある日ノ本学園を目指しましょう」と歓迎の言葉で新入生を迎えました。



入学宣誓式式辞

学校長 中川 守

思考力の向上を目指して

263名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

いよいよ待望の高校生活が始まるわけですが、皆さんには、まずは学習活動、部活動に取組み、高校生活を楽しくて欲しいと願っています。特に学習活動では、「思考力」という言葉に注目してください。私の思う「思考力」の「思」は、「思いやり」です。人が生きていくために一番大切なこととして孔子先生は、「其れ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿れ」と答えています。恕の意味は「思いやり」です。そして、本当に「思いやり」をかけないといけない相手は自分自身と言っています。自分を思いやり、奮い立たせることが大切であって、それを前提として他人に「思いやり」をかけることができると言い切っています。

次は「思考力」の真ん中の考えるという字です。私はそこには、考えるという字ではなく、親孝行の「孝」の字を当てたいと思います。持っている力、個性を全て出し切って日々の学習活動、部活動に取

り組み明るい充実した学校生活を送るのが、真の親孝行です。そして、卒業時に家族に対して、「卒業することができました。ありがとうございます」と言うことばが口から出た時に、「親孝行」は完成形を迎えます。

最後の「思考力」の「力」には、「行動力」を当てたいと思います。過去のデータや成功例を引き出して判断し、正しい方向に進んでください。「行動力」はトライする力です。勇気と智恵を出して自分自身の夢を追い、明るい未来、明るい希望に向かって力強く歩んでください。そして、それぞれの特性を活かして個性を伸展させてください。そのために教職員は一丸となって、励ましの言葉と共に、手を引っ張り背中を押し続けます。

結びに当たり、私の座右の銘を贈ります。「感謝の気持ちを忘れず謙虚な姿勢で誠実に生きる。精一杯生きる。笑顔で生きる」。実り多い高校生活を送ってくれることを祈念し、式辞と致します。

(式辞より一部抜粋)



オープンキャンパス

個別相談・学校見学(予約制)

第1回 7 / 1 (土) 午前

第2回 10 / 14 (土) 午前

第3回 11 / 25 (土) 午前・午後

入試説明会 12 / 16 (土) 午前・午後

第1回 11 / 18 (土) 午前のみ

第2回 12 / 2 (土) 午前・午後

第3回 12 / 9 (土) 午前・午後

第4回 12 / 23 (土) 午前・午後

フリーアカデミー(FA)・ステップコース対象相談会

第1回 6 / 3 (土) 午後のみ 13:30~15:30

姫路会場: 姫路商工会議所 加西会場: 加西市民会館

第2回 8 / 26 (土) 午前のみ 10:00~12:00

本校会場

『ほっと』日ノ本ページ —心の飾りを—

1月23日午後6時ごろ、播但線甘地駅(市川町)のホームでの出来事でした。高齢女性が電車の閉まったドアにはじかれ、あおむけに転倒。電車とホームの隙間に女性の腕が挟まり、電車が動き始めました。「やばい」。とっさに女性の身体を引っ張りホームに引き入れ救助。考えるよりも先に行動に移すことができました。本校の橋本藍人(2年市川中出身)さんの「心の飾りを」が輝きました。尚、この善行に対し県から「のじぎく賞」が贈られました。

コース紹介



学際科学 コース

「学際科学コース」では、今年新たに3名の新入生が加わり、気持ちも新たに新年度を迎えています。早速タブレットに向かいweb予備校の準備に取りかかったり、チューターとの自己紹介の場面など、中学校までとは異なる学習スタイルに戸惑いながら真剣に向き合っている姿に、我々教員も気持ちの引き締まる思いです。個人面談を実施し、それぞれの夢や、それに向けた進路実現の方法などの支援を行いました。来月には、校外で実施される進路説明会にコース全員で参加し、直接大学の話を聞いたり、資料をもらう機会を用意しています。進学に向けたモチベーションアップにつなげてもらいたいと願っています。



未来探究 コース

未来探究コースは、本年度より男女共学化に伴い、131回生男子45名、女子46名、計91名でスタートしました。コース全体の教育目標「正解のない未来を生き抜く力をつける」「自分自身の意志で行動できる人材となる」を掲げ、日々様々な取り組みを進めています。今年度は検定取得を通じて「自分」に「自信」をつけよう!!をもとに、実用英語技能検定、日本漢字能力検定、数学検定、社会福祉・介護福祉検定等に挑戦します。4月24日に実施した第1回コース集会では検定対策の説明をした上で、コース生全員が自分の意志でチャレンジする検定を選択しました。1つ1つの課題をクリアし、将来、社会へ大きく貢献できるような人材育成をめざしてコースとしてサポートしていきます。



幼児教育 音楽コース

2023年度より、幼児教育・音楽コースもさらなる教育内容の充実を目指し、2年次から「保育・児童教育進路系列」と「音楽リスペクト系列」に分かれ学習します。コース全体としての幼児教育系大学、短大への進学目標に変わりはありませんが、各系列には、特に設備の整った「音楽」でその専門分野の力を伸ばす授業や、今までの苦手科目を克服する機会ともなる選択授業が用意されています。楽しみながらも、将来、教育者として活躍できる基礎能力を本校で身に付けてほしいと願っています。様々な活動制限を余儀なくされた3年余から少しずつ自由が戻ってきました。今年度は、「幼稚園訪問」「リトミック交流会」「ハロウィン交流会」などで思いっきりかわいい園児と触れ合えましょう。そして、保育士さんの仕事ぶりもしっかり見学させて頂きましょ。数年後のあなたの姿がもしも。



スーパー アスリート コース

スーパーアスリートコースは、スポーツで日本一を目指すコースです。2年次からトップアスリート系列とスタディアスリート系列に分かれ学習します。「トップアスリート系列」では基礎学力の向上を中心に学び、高度なスポーツ技術とともに、体力的・精神的な強さを有する選手を育成し、「スタディアスリート系列」ではスポーツと学業の文武両道を図りながら、クラブ活動で学んだことを活かし、各分野で中心となって活躍できる人材を育成します。コース全体として主体的に考え、行動できる環境をつくるため総合的な探究の授業で授業作り体験を計画しています。体育概論の内容に特化した単元を振り分け、20分程度の授業を展開できるように考えています。他にもスポーツを通じて礼節やマナーを身につけリーダーシップがとれる人材の育成を目指しており、学校生活から日本一を目指す高い意識も持ち、仲間と共に日々の生活を送っています。同じ意識を持つ、仲間がいるからこそ互いに高めあえるコースで、このコースでしか学べない事がたくさんあります。スーパーアスリートコースに所属するには、強化指定運動部(サッカー部、新体操部、バレーボール部、バスケットボール部、バドミントン部、陸上競技部、ゴルフ部)のいずれかに所属する必要があります。週に6時間もの時間を使い、専門種目の活動を行うことができるため、競技力向上は間違いなしです。



フリー アカデミー (FA) コース

今年度は77名の新入生を迎え、総勢167名でのスタートとなりました。本コースでは中学校までの間で不登校を経験した生徒の心身の調子を整え、安定した学校生活の継続を目指しています。学習面では長期休業中を利用し、自主的に学習が進められるよう自学自習教室を開放しています。また、「コースの日」では実行委員を募り、生徒の自発的な活動を行っています。昨年度は「バームクーヘンづくり」を行い、自ら火をおこし、竹にバームクーヘンの生地をかけ、焼いていきました。最後にはどのグループも温かくておいしいバームクーヘンを焼くことができ、3つの年次がこの活動で交流を深めることができました。これからも生徒たちの意欲的に取り組む姿勢や成功体験の積み重ねにつなげられる活動をしていきたいと思います。



ステップ コース

今年度、はじめての新入生を迎え、第1期生は11名の入学となりました。ステップコースでは、起立性調節障害等で中学校まで体調の関係で欠席日数が多かった生徒に対し、心身の調子を整えながら大学進学を目指し、夢の実現に向け取り組むコースです。2校時から授業が始まり、7校時まで「学際科学コース」の生徒と合同で授業を受けています。現在、1期生は欠席もほとんどなく、素直に真面目に学校生活を送り、学習にも意欲的に取り組んでいます。また、今年度は学際科学コースと同様「チューター制度」「Web予備校」を活用し、基礎学力の強化および学力向上を目指していきます。



大学に進学した先輩たちの声

竹内 あゆみ 町田市立鶴川第二中学出身
慶應義塾大学 看護医療学部看護学科

夢を実現するために必要な看護大学への進学を目指し、夏から本格的に受験勉強に励みました。AO入試だったので小論文を何回も書いては先生に提出し、大学合格に向けて努力しました。一次選考の書類審査では、先生方に沢山協力してもらいながら書類を作成しました。二次選考の面接の練習は、ほぼ毎日のように先生に面接の練習をお願いし、合格に向けてできる限りのことをやり抜きました。合格することができたときは、最初は信じられませんが、これまでの努力の成果なのかなと感じています。この経験を活かし、クライアントに寄り添える看護師を目指します。

宇野 ひまり 宝塚市立光が丘中学出身
同志社大学 スポーツ健康科学部スポーツ健康科

私の夢は新体操で日本一になることでした。そのために毎日の練習に前向きに取り組み、3年生ではキャプテンとして明るい声かけをするように心がけました。キャプテンを経験したことは、自分の成長に大きく関わっていると思います。自分のことだけでなく、他の仲間にも声をかけることで自分も前向きに物事を捉え、考え方は以前よりもだいぶ変わったと思います。栃木国体では優勝することができ、目標の日本一を達成することができました。

赤羽 柚寿 塩尻市広陵中学出身
関西外国語大学 英語国際学部英語国際学科

私の夢は外資系の客室乗務員になることです。私は日ノ本学園に、サッカーで日本一を取るために入学しました。この3年間、仲間と共に日本一という目標に向かって生活する中で辛いことも多かったですが、その自分と向き合う時間が増えました。自分の特徴や人間性を理解できるようになり、その過程で自分の興味のあることや、やりたいことが明確になり、「外資系の客室乗務員になる」という夢を見つけました。

日ノ本の部活動紹介



サッカー部

王座奪還を目標に、日々練習に取り組んでいます。ピッチの中では常に考え続け、全員がボールに関わり続けながら、主導権を握ってサッカーができるように、毎日の練習で積み重ねています。また、ピッチの外では挨拶や礼儀、身の回りの整理整頓や清掃活動など普段の生活から凡事徹底を大切にしています。昨年度の夏冬の全国大会では決勝の舞台まで一歩届かず、悔しい思いをしました。今年は必ずチーム全員で日本一を取りにいけます。

戦績

第31回全日本高等学校
女子サッカー選手権大会ベスト4



バレーボール部

私たちバレーボール部の目標は「兵庫一」です。今年度は14人の1年次生を迎え、夏のインターハイ予選優勝に向けて日々練習に励んでいます。

今年度も昨年度に引き続き『感謝～想いを繋ぐ～』をテーマに、全員の想いをボールに込め、粘りあるバレーボールで兵庫の頂点を掴み取ります。

戦績

第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会兵庫県予選大会 第3位
秋季西播優勝大会 準優勝
後期西播総合体育大会 準優勝
第68回兵庫県バレーボール高等学校男子女子新人大会 第3位



バスケットボール部

私たちバスケットボール部は、兵庫県ベスト4に入ることが目標です。今年度は7人の1年次生を迎え、チーム一丸となり目標に向かって日々練習に励んでいます。

感動・感謝・挑戦・克己をテーマに兵庫県で「1番良いチーム」を目指して頑張っていきます。応援して下さいの方々にも少しでも恩返しできるように先生方、保護者、選手全員で目標に向かって突き進みます。

戦績

第75回兵庫県高等学校新人バスケットボール選抜優勝大会 第5位
優秀選手 朝霧 咲瑛 (3年) 播磨南中学校出身
令和5年 西播高校前期総合体育大会バスケットボールの部 Aリーグ 1位 優勝
優秀選手 西崎 結愛 (3年) 大白書中学校出身
永安 絃音 (2年) 山陽中学校出身



ゴルフ部

ゴルフ部は現在、男子4名、女子10名が所属しており、実際にゴルフ場での練習や、トレーニングや打球練習など、互いに切磋琢磨しながら活動しています。

男女ともに日本一を目指して日々の練習だけでなく、学校生活や日常生活も充実したものとなるように過ごしています。今年度から団体戦にも出場するので、より一層頑張ります。

戦績

(男子)
山東ジュニアオープンゴルフ選手権大会 優勝
令和4年兵庫県高等学校総合体育大会ゴルフ競技 2位
(女子)
山東ジュニアオープンゴルフ選手権大会 優勝
令和4年兵庫県高等学校総合体育大会ゴルフ競技 優勝
令和4年第31回兵庫県高等学校ゴルフ選手権秋季大会 優勝



優勝
2位

優勝
優勝
優勝



新体操部

チームの目標【日本一になる】

新体操部は日本一を目指して毎日練習に励んでいます。お互いの意見を共有しながら練習に取り組むことを心がけています。また、日本一は練習だけ頑張れば掴めるものではなく、普段の生活から新体操に熱中できる環境を整えることが大事だと思っています。「美しさは心から」をモットーに心を磨き、人としても成長したいです。

戦績

令和4年度兵庫県新体操新人大会 団体優勝
第38回全国高等学校新体操選抜大会 団体2位



バドミントン部

私たちバドミントン部は3年生2名、2年生14名、1年生16名の計32名(5月10日現在)が男女AチームとBチームに分かれて活動しています。

チームでの目標は全国の舞台へ出場することです。各自がしっかりと個々の目標を持ち、目標達成のために日々の練習に励んでいます。絆を深めるためにも互いのことをよく理解して、勝ってみんなで喜べるチームを目指し、頑張っています。Instagramにて活動内容を投稿していますので、良かったらフォローしてください!!

戦績

西播総体	団体 優勝	県総体	団体 3位
	ダブルス 優勝		ダブルス 5位
	シングルス 優勝		シングルス ベスト16
西播新人	団体 優勝	県新人	団体 準優勝
	ダブルス 優勝		ダブルス 3位
	シングルス 準優勝		シングルス ベスト16



陸上競技部

今年度より始めて男子部員を加えて活動しています。「自主性・発見・継続」をスローガンに各部員の実力にあった練習を積み重ね、パーソナルベストの更新、そして全国インターハイへの出場を目標に活動しています。

戦績

(西播高校陸上競技選手権大会の結果)
女子総合8位 フィールドの部3位
土井果恋(3年) 走高跳 3位 朝日中学校出身
米山青望(3年) やり投 3位 市川中学校出身
山本奈歩(2年) 走幅跳 2位 三段跳 2位 香寺中学校出身
田島未夢(2年) ハンマー投 2位 朝日中学校出身



文化部

ダンス部 放送部

パソコン部

美術・アニメーション部 吹奏楽部

百人一首部 軽音楽部 演劇部

音楽(合唱)部 福祉探究部 調理部

生物部 華道部 茶道部 書道部 など



私たち128回生のために、卒業証書授与式を挙行していただき、心より深く感謝申し上げます。私たちは、「心の飾りを」という校訓の下、内面の美しさを持ち備えた人として、それぞれのコースで知・徳・体の成長に努めてきました。一人ひとりが、それぞれのコースで培ってきたすべての経験と学びは、これからの人生を開拓していくための、大きな礎となることでしょう。

また、本校が最も大切にする行事であるクリスマス礼拝。イエス様がどのようにして誕生したか、神とは私たちにとってどんな存在であるのかなど、聖書を通して、私たちがこれからの人生を素敵なものにしていける人間力を身に付けることができ、夜に打ち上げられた花火にも感動しました。

そして、私の高校生活の青春は、部活動にありました。私は3年間サッカー部に所属し、全国各地から集結したサッカーを愛する仲間たちと「日本一」という栄光に向かって監督交代という突然の事態を迎えながらも、日々精進してきました。しかし、一度も日本一に到達することはできませんでした。結果に繋がらなかったとしても仲間と共に汗と涙を流し、必死にもがき続けてきたことに大きな価値があり、その仲間とそれらの過程は、私の誇りです。



そんな私の一番の支えは家族でした。長野県に住む家族の元を離れ、寮生活を過ごす中で、たくさんの困難がありました。その困難を乗り越えられたのは、母が私に、「困難なこといつか自分にとってプラスになる時が来る」と言い続けてくれたからです。母親に限らず、家族という存在に何度救われたか計り知れません。

最後に、私たち128回生は本校で出会った「心の飾りを」と言う言葉を胸に刻み、本校で得た多くの思い出・学び・誇りを自分自身の糧とし、一人ひとりが自分らしい羽を広げ、大きく羽ばたいていきます。3年間本当にありがとうございました。



128回生 表彰者

総代 竹内あゆみ (町田市立鶴川第二中学校出身)

日本私立中学高等学校連合会 特別表彰 宇野ひまり (宝塚市立光が丘中学校出身)

兵庫県私立中学高等学校連合会 特別表彰 押部 唯愛 (別府中学校出身)

全国福祉高等学校長会 理事長賞 上野 結菜 (神河中学校出身)

三箇年皆勤者

菊本 春菜 (福岡東中学校出身)

古谷千佳子 (千葉市立蘇我中学校出身)

浅田 陽和 (北条中学校出身)

古関 なな (大津中学校出身)

助友 楓彩 (灘中学校出身)

上野 結菜 (神河中学校出身)

前田裕夏子 (太子西中学校出身)

藤本 杏美 (社中学校出身)

大澤 涼音 (金蘭会中学校出身(大阪府))

上田 梨瑞 (宝殿中学校出身)

山田陽世里 (別府中学校出身)

生徒会長抱負 2年2組 三浦 夕葵 (広瀬中学校出身)

2023年度の生徒会長に就任しました、2年2組の三浦夕葵です。生徒会長としての抱負は、最後まで全力でやりきること、全生徒の信頼を得られるように頑張ることです。

まず、最後まで全力でやりきることについては、生徒会長の仕事を進める上だけでなく、私生活でも大切であると考えて実践してきました。力不足を実感することもあります。生徒会長の仕事、私生活のどちらにおいても、責任を持ってやり遂げたいと願っています。

次に、全校生徒の信頼を得ることについて、大変困難なことであると思います。しかし、一つ一つの仕事を丁寧に進めていき、生徒の皆さんにこの人なら大丈夫と安心してもらえるよう頑張ります。そして、生徒の皆さんの要望にもしっかり応えて、日ノ本学園高等学校をより良い学校に変えられるように頑張ります。

生徒一人ひとりがより良い学校生活を送れるように、私を含め生徒会一同、皆さんの期待に応えられるように努力します。また私自身、日ノ本学園高等学校の生徒の代表として精進していきますので、これからよろしくお祈りいたします。

想いをつなぐ

宝物



128回卒業生保護者 花田 かおり

どうしても日ノ本学園に行きたいと言って進学を決めました。中学校のときまで人前では緊張して、自分から何かをすることなどできなかったあなたが、2年生で音楽部部長を務め、生徒会では会計を任せられました。お母さんは本当にうれしいです。

莉夢、部活動や勉強で忙しいのに、お母さんも忙しいからといって晩ごはんを作ってくれました。朝には学校に行く前に洗濯物を干してくれるなど、いろいろなことを手伝ってくれてありがとう。

最近お母さんはイライラしていました。でも、それは莉夢のせいではないので気にしないでね。

4月からは専門学校生です。家を出ていくのは寂しいですが、莉夢が決めたことなので、お母さんは応援するよ。

あなたはとても優しい子です。いつも怒ってばかりのお母さんだけど、莉夢はお母さんの宝物です。私の娘に生まれてきてくれてありがとう。これからも莉夢のことを頼ってばかりのお母さんだけだよ。よろしくね。

感謝



128回卒業生 津端 優衣 (明石市立大蔵中学校出身)

今の私があるのは粉れもなく両親のおかげです。日ノ本学園でバスケットボールをする決断を、両親は応援してくれました。入学からの2年間は寮生活で寮母さんの温かいご飯と笑顔が私を元気づけてくれました。その間、両親は仕送りや試合会場への送迎など、たくさんのサポートをしてくれました。

大学進学を考えたとき、自分のやりたいことだけをしていては夢を実現できない現実を知りました。そこで私は、親元に戻り、部活動と受験勉強の両立をすることを決断しました。親元に戻ってからは、部活動と勉強に追われる日々で、今までとは違う過酷さを感じました。そのような中、母は4時半からお弁当を作ってくれ、私が帰宅する22時に晩ご飯を用意してくれました。母を見てみると、私は感謝の気持ちとともに尊敬の念でいっぱいになります。私がこの3年間を100%の力で取り組めたのは、両親をはじめ、寮母さん、先生方、友人の支えがあったからです。これまで私を支えてくれた方々に感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいです。何より、これからは両親に恩返しをしていきたいと思えます。18年間私を育ててくれてありがとう。



ご報告



128回生卒業記念品として、生徒用学習椅子を贈与いただきました。ありがとうございました。